

親子に絵本の読み聞かせをする「よみっこ」のメンバー。刈谷市井ヶ谷町の愛知教育大付属図書館で



情感たっぷり大学生読み聞かせ

愛教大生「子どもの笑顔が励み」刈谷

愛知教育大の学生でつくるサークル「よみっこ」が十日、刈谷市井ヶ谷町の愛教大付属図書館で「よみきかせ祭」を開いた。絵本の読み聞かせや、紙芝居などを学生たちが情感たっぷりに披露。親子連れら三十人が楽しんだ。

館内には子ども向けの本を集めた「キッズライブラリー」があり、絵本や児童書など四千冊を備える。ここで学生が「はらぺこあおむし」の大型絵本のページをゆっくり開いて語りかけると、小さな子が近づき、チヨウの絵を指さして興味深そうに声を上げていた。

館内では、紙芝居やパネルシアターも。朗読劇では、学生たちが身ぶり手ぶ

りを交えながら動物になりきって、親子らを物語の世界に引き込んだ。

学生に読み方を指導する東海テレビの庄野俊哉アナウンサーと、名古屋フィルハーモニー交響楽団ピオラ

奏者の寺尾洋子さんもゲスト出演。庄野さんが「大きなかぶ」などを読むのに合わせ、寺尾さんは動物の鳴き声や場面に応じたメロデーを奏でて盛り上げた。

一歳四カ月の娘苺結ちやんと訪れた鈴木久恵さんは「学生たちは優しく、子どもの表情を見ながら丁寧に絵本を読んでもくれた」と感謝。よみっこ代表の中村琴海さん（二年）は「子どもたちの笑顔が励み。これからも積極的に関わる機会を設けたい」と話した。

（山本克也）